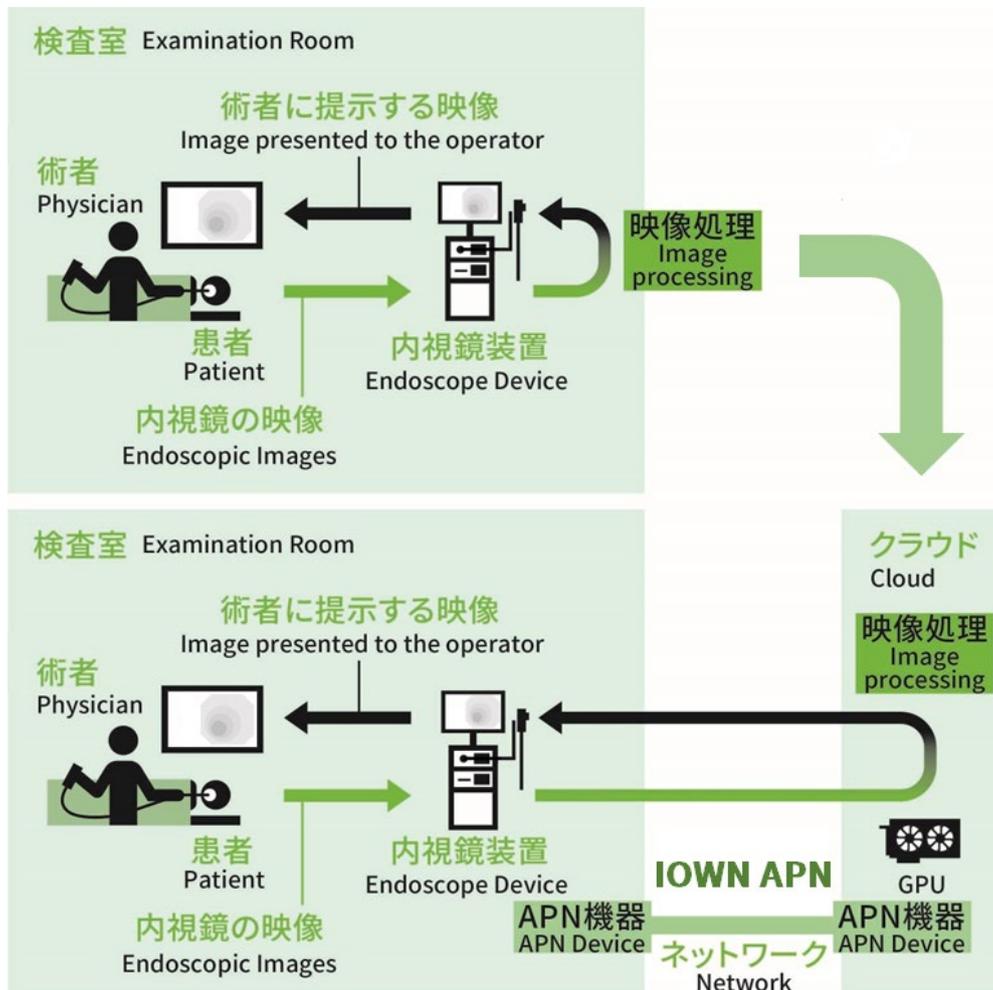


APNで実証-クラウド内視鏡分析- IOWN APN技術の高速低遅延を活かし クラウド上でのリアルタイム映像処理を実現します

#顧客体験価値向上



///技術課題

内視鏡とクラウド間で遅延を発生させない高速低遅延のネットワークの実現が必要です。

///研究目標

クラウド内視鏡システムの実現性を通して、高度な医療へのアクセス拡大などの社会課題の解決に貢献します。

---要素技術

- NTTが提供するIOWN APNを活用した高速低遅延ネットワーク技術
- オリンパスの内視鏡に対する高度な映像処理技術

---市中技術差異点

APNの高速低遅延ネットワークとオリンパスの映像処理技術を組み合わせることで、150キロ先の遠隔地に映像処理サーバを設置しても、内視鏡の映像を検査、手術に適用可能なレベルの遅延や揺らぎのない伝送が可能である事を実証し、APNがクラウド内視鏡システムの実現に向けたネットワーク課題の解決に貢献

---適用ビジネス

ビジネス領域：情報通信業分野、医療分野

ユースケース例：内視鏡など医療分野における映像処理のユースケースに活用可能

サービス提供予定時期：2030年以降